

東京理科大学薬学部生命創薬科学科（4年制） 教員公募要領（専任教員）

1. 公募人員	准教授または講師（1名）
2. 任期	定年制（65歳となる年度の末日）
3. 所属	東京理科大学薬学部生命創薬科学科
4. 勤務地	雇入れ直後：東京理科大学 葛飾キャンパス 変更の範囲：法人の定める場所
5. 業務内容	雇入れ直後：専攻分野についての学生の教授、その研究の指導、及び研究に当たる 但し、上記以外の業務を命ずることがある 変更の範囲：法人の定める業務
6. 専門分野	病態学分野（分子・細胞から組織・個体レベルに至る疾患メカニズムの解明に関する研究領域を広く含む）
7. 担当予定科目	病態・薬物治療学Ⅰ（旧：疾病と病態総論。炎症・代謝異常・腫瘍などの疾患の分子・細胞レベルのメカニズムを扱う講義）、機能形態学および関連する実習・演習、卒業研究など。
8. 着任日	2027年4月1日
9. 応募資格	(1)博士の学位を有すること (2)病態学・病理学または関連分野に関する研究・教育ができること。 (3)独立して研究室を運営し、卒業研究および大学院学生の研究・教育の指導を担当する能力を有すること。 (4)学部（生命創薬科学科及び薬学科）及び大学院における病態学関連科目の講義及び実習を担当し、薬剤師養成教育に協力できること。 (5)大学運営（各種委員会活動、入試及び広報業務等）に積極的に取り組むことができること。
10. 提出書類	(1)履歴書（本学指定様式を使用すること） https://tus.box.com/s/416copxqsa8ev5tdkfhsn2lry3kddtws (2)教育研究等について ・業績リスト（学術論文、著書、外部資金の獲得状況等） ※原則として、以下の記載方法に整えること。 （ア）作成年降順に記載すること。 （イ）連名・共著の場合は、記載順に全員の氏名を記載すること。ただし、連名・共著者が多い場合は少なくとも第1著者名、他何名と記載し、自身が何番目の著者が分かるように記載すること。 （ウ）コレスポンディング・オースー（責任著者）にアスタリスクをつけること。 （エ）自身の氏名にアンダーラインを引くこと。 ・これまでの研究概要と採用後の研究計画（適宜図表を含めて良い、A4用紙1～2枚程度） ・これまでの教育活動の実績や今後の抱負（A4用紙1枚程度） (3)応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先等 （氏名、所属・職位、メールアドレス、電話番号、照会可能者との関係） (4)学位記（博士）の写し（学位記は学位取得証明書でも可） (5)主要論文等の写し（主なもの3～5編程度） ※照会可能な方の2名の推薦書を願います。この場合は別途ご連絡いたします
11. 応募締切	2026年9月30日(水曜日)まで
12. 書類提出先・問い合わせ先	提出先：以下の応募フォームからご提出ください。 応募フォーム： https://tus.qualtrics.com/jfe/form/SV_ewHdQ19i6Dt8Yu 問い合わせ先：東京理科大学薬学部生命創薬科学科主任 横山 英志 yaku-jinji-3(at)rs.tus.ac.jp 【注】(at)は@に置き換えてください。 ※件名に「病態学分野 教員採用の問い合わせ」と入力して送信願います。
13. その他	・ 本学及び学部・研究科等の求める教員像及び教員組織の編成方針を以下URLからご確認ください。 https://www.tus.ac.jp/about/university/editorial_policy/ ・ 東京理科大学では、女性人材を積極的に育成、活用し、活躍を支援する大学となることを目標としています。女性の積極的な応募を期待します。 女性教員活躍支援のための方策（妊娠・出産なさった方、育児・介護等に取り組む方へ、仕事との両立を支援する各種制度等）について以下URLよりご確認ください。 ダイバーシティ推進会議： https://www.tus.ac.jp/tcw/ ・ 東京理科大学では、本学に採用されて間もない教員に対して、個々の研究環境の整備と、研究活動の活性化を図ることを目的とした「研究室スタートアップ経費支援制度」を実施しています。 ・ 東京理科大学キャンパス内は指定場所以外、禁煙となっております。 https://www.tus.ac.jp/tuslife/campuslife/academy/nosmoking/ ・ 面接に伴う交通費等は、応募者の自己負担となります。